

鹿児島純心女子短期大学国際化ビジョン 2020

本学が立地する鹿児島は、遠い昔から黒潮に乗って渡来する東南アジアや琉球の文化の恩恵に与ってきました。また、1549年にフランシスコ・ザビエルが初めてキリスト教を伝えた地でもあり、その歴史・文化においてグローバルな交流を営んできた土地柄です。さらに、19世紀には世界遺産登録された旧集成館等における西洋技術の先進的導入や薩摩藩英国留学生の日本近代化への貢献などがあり、2018年にはその節目である明治維新150周年を迎えます。

このような歴史的背景のもと本学は、キリスト教ヒューマニズムに基づく全人教育により、豊かな人間性と高い専門的能力を備えた女性を育成し、真の意味で社会の発展と平和に貢献できる人材を輩出することを目的としています。

この私たちが目指す人類の平和には、異なる文化的背景を持つ多様な人々の活発な交流とコミュニケーション、理解と受容のもとに共生する社会の創造が不可欠です。このようなグローバルな視点に基づき、本学では、第2中期計画最終年度であり創立60周年を迎える2020年を目途に、グローバル社会に対応した教育と社会貢献をより一層推進すべく、次の目標を策定しました。

この目標に基づき、海外の人々を積極的に受け入れて活発に交流するとともに、海外で学ぶ学生を増やし、国際理解をより一層促進するため、留学支援の充実、海外大学との連携強化、グローバル環境の整備、国際交流活動や外国語教育の促進、地域のグローバル化支援の拡充を行っていきます。

1 学生の海外留学の促進

- ① 海外留学を行う学生の割合を年間0.3%から1%へ増やします。
- ② 海外留学協定大学を3校から6校へ増やします。
- ③ 留学ガイダンスを実施し、学生一人一人の留学形態やニーズに応じた支援を行います。
- ④ 留学における経済的支援や単位認定制度の改善に取り組みます。

2 グローバル環境の整備

- ① 教職員を対象としたグローバル化対応の研修会を行います。特に、SD活動を通して事務職員の中で国際交流・留学のエキスパートを育成し、学生に対してより的確なアドバイスができるようスキルアップを図ります。
- ② 国際交流イベント・ボランティア情報、留学情報の掲示や資料を自由に閲覧できる「国際交流・留学支援室」を開設します。国際交流ボランティアや留学を希望する学生が話し合いをしたりガイダンスを受けたりするスペースも提供しま

す。教職員のアドバイザーを決め、学生が相談しやすい環境を提供します。

- ③ 英語で発信する本学公式サイトの情報量を増やすとともに、中国語での発信にも取り組みます。

3 国際交流活動の推進

- ① 毎年、学内で実施しているマレーシア、韓国、オーストラリアの学生たちとの交流を充実させるとともに、新たな国や団体の訪問を積極的に受け入れ、国際交流の機会を増やします。
- ② 海外からの留学生を受け入れる制度を検討します。

4 外国語教育の充実

- ① 全学生が「英語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」のいずれかを履修し、70%以上の学生が実用英語技能検定、TOEIC、フランス語検定、中国語検定、韓国語検定のいずれかを受検し、到達目標を達成します。
- ② 外国語教育の基礎科目において、習熟度別クラス編成または少人数クラス編成を行います。

5 地域の地方自治体・企業・地域住民等のグローバル化への貢献

鹿児島県、鹿児島市、鹿児島市国際交流財団などの関連団体と連携し、地域のグローバル化への支援を一層充実させます。

- ① 学生の国際交流ボランティアへの参加率を伸ばします。また、「国際交流ボランティア実習」として単位化し、事前学習を充実させ、よりよい形で地域の国際交流の活性化に貢献します。

例) 鹿児島市主催「かごしまアジア青少年芸術祭」や鹿児島市国際交流財団主催イベントにおけるボランティア活動

- ② 学生、教職員がボランティア通訳として、外国人在住者・観光客と地域住民とのコミュニケーションを支援します。

例) 外国人対象の観光ツアー「鹿児島ぶらりまち歩き」における通訳ガイドボランティア(鹿児島市観光プロモーション課)、災害時語学ボランティア(鹿児島市国際交流財団)

- ③ 外国語による鹿児島の情報発信を支援します。

例) 外国語案内表記作成、観光地・特産物紹介のメディアコンテンツ作成等の支援

策 定 平成 27 年 8 月 26 日(平成 27 年度第 6 回教授会 承認)

一部改正 平成 29 年 9 月 14 日(平成 29 年度第 6 回教授会 承認)